

科目名	プログラミングの基礎(1) Fundamentals of Computer Programming I	科目コード	51220
-----	--	-------	-------

学科名・学年	環境都市工学科・2年
担当教員	井林 康（環境都市工学科）
区分・単位数	履修単位科目・必修・1単位
開講時期・時間数	前期，30時間【内訳：講義30】
教科書	竹内則雄ほか，FORTRAN77とFortran90，森北出版，1994
補助教材	プリント
参考書	なし

【A. 科目の概要と関連性】

科学技術計算でしばしば用いられる，FORTRAN言語によるプログラミングの基礎を学ぶ。

○関連する科目： 基礎情報処理（前年度履修）

【B. 「科目の到達目標」と「学習・教育到達目標」との対応】

この科目は長岡高専の教育目標の(D)と主体的に関わる。

この科目の到達目標と、各到達目標と長岡高専の学習・教育到達目標との関連を以下の表に示す。

科目の到達目標	評価の重み	学習・教育到達目標との関連
①FORTRANを用いた簡単な計算を理解する	30%	(d2)
②選択と繰り返しと関数を理解する	40%	(d2)
③配列と文字処理を理解する	30%	(d2)

【C. 履修上の注意】

ホームルームにおける授業と、端末室における実習授業を行うため、場所をその都度指示する。プログラミングの習得は、人により進捗や理解度がかなり異なるため、自分から意欲的に課題に取り組む姿勢が必要となる。授業中の態度が著しく悪い場合、また欠席や遅刻の回数に応じて、評価からの減点を行うことがある。

【D. 評価方法】

次に示す項目・割合で達成目標に対する理解の程度を評価する。50点以上を合格とする。

- 定期試験（20%）【内訳：前期末20】
- 課題（70%）
- その他の試験（10%、小テスト）

【E. 授業計画・内容】

● 前期

回	内容	備考
1	授業の導入とプログラミングの基礎	
2	簡単な計算(1)	
3	簡単な計算(2)	
4	簡単な計算(3)	
5	選択と繰り返しと関数(1)	
6	選択と繰り返しと関数(2)	
7	選択と繰り返しと関数(3)	
8	選択と繰り返しと関数(4)	
9	配列(1)	
10	配列(2)	
11	配列(3)	
12	文字処理(1)	
13	文字処理(2)	
14	文字処理(3)	
—	前期末試験	試験時間：50分
15	試験解説と発展授業	